

## 公立高校の授業料

## 「無償化」所得制限を憂う

神奈川県議会議員  
民主党・かながわクラブ きしひべ 都

県立高校の入学者選抜はくいきました。不本意入学者を年収250万円以下の家  
庭（同約12%）に回し、今「共通選抜」の2年目を迎えると、長年、全庭（同約12%）に回し、今  
えます。定員は全体で1522人増、全日制は県立159人増、市立41人増となり、計1200人増の4万3959人の募集です。

これまで、全日制を希望定員増となりました。

しながら、経済的理由で公立高校の授業料無

立の定時制を選ぶ生徒が多く入した公立高校の授業料無

が、財源は新たに確保すべきです。高校教育を誰でも受けられる教育保障として

社会で支える仕組みが、再び家庭の責任として背負うことになりかねません。学

びを社会が支える仕組みが、再び家庭の責任として背負うことになりかねません。学

限を設け、年収910万円以上の家庭（全家庭の約20%）から授業料を徴収しようとっています。削った分

償化が今国会で見直されています。来年度から所得制



みなさまからのご意見、  
ご要望をお待ちしています

きしひべ都政務調査事務所

南区通町2-25-3 千々輪ビル1階

☎045-341-3385

<http://kishibe-miyako.com/>